

景気動向指数  
平成 26 年 2 月分（速報）の概要

2月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：108.5、一致指数：113.4、遅行指数：116.7となった。（注）

先行指数は、前月と比較して4.6ポイント下降し、6か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は1.03ポイント下降し、6か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は0.07ポイント上昇し、14か月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して1.8ポイント下降し、8か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は0.67ポイント上昇し、15か月連続の上昇、7か月後方移動平均は0.71ポイント上昇し、13か月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、4か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は0.90ポイント上昇し、13か月連続の上昇、7か月後方移動平均は0.57ポイント上昇し、13か月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

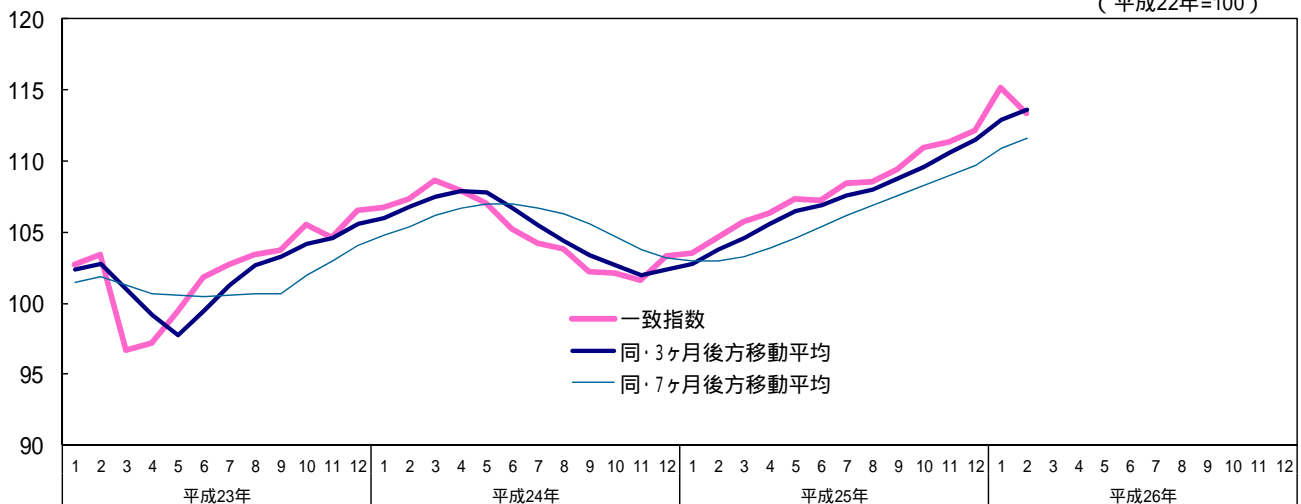
寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.02	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.47
		C4：耐久消費財出荷指数	-0.35
		C1：生産指数(鉱工業)	-0.32
		C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.25
		C3：大口電力使用量	-0.22
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.11
		C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.10
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.09
		C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.07
C9：営業利益(全産業)	0.15		

「C9 営業利益（全産業）」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移

（平成22年=100）



（注）平成26年4月2日（水）（公表日の3営業日前）までに公表された値を用いて算出した。